

告 辞

木々の芽もふくらみ始め、吹く風に暖かな春の訪れを感じる今日の良き日に、中学校三カ年の課程を終えて、卒業証書を受け取られました卒業生のみなさん、ご卒業おめでとうございます。そして、これまで卒業生を慈しみ、健やかな成長と幸せを願い、支えてこられました保護者のみなさまに心からお慶び申し上げます。

三年前の春、新型コロナウイルスの影響による臨時休業のために、入学式は六月に行われるなど、みなさんの中学校生活は不安と隣り合わせの状態です。スタートしました。コロナ禍において、我慢を強いられる場面も数多くあり、楽しみにしていた行事が中止になってしまったり、心を合わせてつくりあげてきた発表の機会がなくなってしまうと、今日までの道のりは決して平らなものではなかったことかと思えます。しかし、みなさんはそのような中でも、これまですごしてきた日常を見直し、柔軟な発想で新しいアイデアを出し合い、様々な工夫を凝らしながら、仲間とのつながりをより深めていくこ

とができたのではないのでしょうか。このような力こそが、「非認知能力」と呼ばれる大切な力です。また、めまぐるしく環境が変化し、予測不能で正解のない社会を生きぬいていくみなさんに、強く求められている力でもあります。

さて、みなさんは世界で初めて爆発しないロケットエンジンや国内唯一の微小重力実験施設をつけた北海道の小さな町工場、植松電機の代表取締役である植松 努さんをご存知でしょうか。植松さんは「どうせ無理だ」と周囲から否定されても、何度

実験の失敗を重ねても、決して諦めることなく挑戦をつづけ、宇宙開発に携わるという小さな頃からの夢を実現させました。そして、今も未来に向けて、全国各地で子どもたちへの講演やロケット教室を開催されています。そんな植松さんが大切にしている言葉が「思いは招く」です。これは、人は強く「思い描く」からこそ、今、自分自身が何をすべきかが見えてくるものであり、「思い続ける」からこそ、人との出会いや幸運を招き、実現に近づいていくものであることを意味しています。

未知なるこれからの社会へとはばたくみなさんにとって、きっとこの先、くじけそうになったり、

大きな困難に直面し不安になったりすることもあ
るでしょう。そんな時こそ、「思いは招く」という
言葉を思い返してみてください。そして、みなさん
が仲間とともに学び、笑い、時には意見をぶつけ合
いながらも、積み重ねてきた経験と自信が、今後の
生きる道において必ず支えとなり、大きな力となる
ことを忘れないでください。みなさんが新しい社会
の担い手として、失敗を恐れることなく、思い描い
た道をこれからも進みつづけられることを心から
願っています。

あとになりましたが、教育への限りない愛情と情
熱をもち、生徒と苦楽をともにされた校長先生をは
じめ教職員の方々、並びに日頃から学校に何かと温
かいご支援、ご協力をいただきましたPTAや地域
のみなさま方に対しまして心より敬意を表し、感謝
申しあげます。

結びに、卒業生のみなさん一人ひとりの輝ける未
来を祝福し、告辞といたします。

令和五年三月十四日

茨木市教育委員会

